



# Leichtlauf High Tech 5W-40

## 安全データシート

JIS Z 7253 : 2012 に準ずる  
発行日: 2017/01/11 改訂日: 2018/01/19 バージョン: 2.2  
MSDS 番号: 10693-0080

### 1. 化学品及び会社情報

#### 製品特定名

化学品の名称 : Leichtlauf High Tech 5W-40  
製品コード : 20899 - 1L, 20900 - 5L, 20927 - 20L, 3868 - 60L, 3869 - 205L

#### 推奨用途及び使用制限

推奨用途 : エンジンオイル

#### 会社情報

LIQUI MOLY GmbH  
D-89081 ドイツ Ulm-Lehr  
Jerg-Wieland-Str. 4  
T (+49) 0731-1420-0 - F (+49) 0731-1420-88  
SDS 担当の有資格者の電子メールアドレス: sds@gbk-ingelheim.de

#### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +49 (0) 6132 / 84463 (GBK GmbH, Ingelheim)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

物理的危険性 引火性液体 区分外

### 3. 組成及び成分情報

製品情報 : 混合物

名前	濃度	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
Baseoil - unspecified, Distillates (petroleum), hydrotreated heavy paraffinic	25 - 55%				64742-54-7
Bis(nonylphenyl)amine	1 - 2,5%	C30H47N			36878-20-3
Baseoil - unspecified	1 - 5%				64742-54-7, 64742-65-0, 64742-55-8, 64742-56-9

### 4. 応急措置

#### 応急措置

応急措置 一般 : 気分が悪い場合は医師の診察を受ける(可能であればラベルを見せる)。  
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。  
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合 : 医師の診断/手当てを受けること。  
飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

**その他の医学的アドバイスまたは治療**

医師に対する特別注意事項 : 対症的に治療すること。

**5. 火災時の措置**

適した消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素  
使ってはならない消火剤 : 多量のウォータージェット  
火災時の危険有害性分解生成物 : 炭素酸化物(CO、CO<sub>2</sub>)、  
炭化水素、  
有毒熱分解製品、  
硫黄酸化物、  
酸化窒素、  
引火性および爆発性の蒸気-空気混合物を形成することがある。  
消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
自給式呼吸器。  
完全防護服。

**6. 漏出時の措置****非緊急対応者**

応急処置 : 漏出エリアを換気する。  
皮膚、眼との接触を避ける。

**緊急対応者**

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。

**環境に対する注意事項**

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

**封じ込め及び浄化方法及び機材**

浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。  
その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。  
皮膚、眼との接触を避ける。  
個人用保護具を着用する。  
衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
製品取扱い後には必ず手を洗う。

**保管**

安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。  
涼しいところに置くこと。  
混触禁止製品 : 酸化剤。  
熱及び発火源 : 高温、直射日光を避ける。  
包装材に関する特別な規則 : 他の容器に移し替えないこと。

**8. ばく露防止及び保護措置**

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

手の保護具 : 柔軟クリームを塗る。この推奨は実験室条件下における化学的適合性および EN 374 準拠テストにのみ基づく。製造業者が指定する浸透性と浸透時間を遵守する。手袋素材は破過時間、透過速度、劣化等を考慮して選択する。

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
適切な保護手袋。	ニトリルゴム。 ポリ塩化ビニル (PVC)。	6 (> 480 分)。	0,4		EN 374。

眼の保護具 : サイドシールド付き安全メガネ。密着性の高い安全ゴーグル。安全メガネ。

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

機器	フィルタタイプ	条件	規格
フィルター付きマスク。	A2。P2。	ミストの形成。空気中の濃度>暴露限界の場合。	EN 14387。

環境への暴露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态 : 液体  
 色 : 茶色  
 臭い : 特有の臭気  
 蒸発速度 (酢酸ブチル = 1) : 非該当  
 引火点 : 236 ° C  
 燃焼性 (固体、気体) : 非該当  
 爆発範囲 (上限、下限) (g/m<sup>3</sup>) : 非該当  
 密度 : 0.855 g/cm<sup>3</sup> @ 20° C  
 溶解度 : 不溶性。  
 爆発範囲 (上限、下限) (g/m<sup>3</sup>) : 非該当  
 動粘性率 : 90 mm<sup>2</sup>/s @ 40°C

## 10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。  
 化学的安定性 : 通常の条件下では安定。  
 危険有害反応可能性 : 通常の使用条件下において、危険な反応は検出されていない。  
 避けるべき条件 : 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません (第7節参照)。  
 混触危険物質 : 強力な酸化剤。  
 危険有害な分解生成物 : 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口) : 区分外。  
 急性毒性 (経皮) : 区分外。  
 急性毒性 (吸入) : 区分外。  
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分外。  
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分外。  
 呼吸器感作性 : 区分外。

皮膚感受性 : 区分外。  
 生殖細胞変異原性 : 区分外。  
 発がん性 : 区分外。  
 生殖毒性 : 区分外。  
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分外。  
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分外。  
 吸引性呼吸器有害性 : 区分外。

## 12. 環境影響情報

生態系 - 全般 : 本物質は水性生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。  
 水生環境(急性) : 区分外。  
 水生環境(慢性) : 区分外。

Leichtlauf High Tech 5W-40	
残留性・分解性	追加情報なし
Leichtlauf High Tech 5W-40	
生体蓄積性	追加情報なし
Leichtlauf High Tech 5W-40	
土壌中の移動性	追加情報なし

オゾン層への有害性 : 区分外。  
 その他の有害な影響 : 追加情報なし

## 13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を破棄する。  
 汚染容器及び包装 : 容器内の残余物は除去する。  
 廃棄または焼却処分よりリサイクルが好まれる。  
 洗浄不可能な包装は内容物と同様に廃棄すること。

### 追加情報

推奨下水処理 : 推奨されない。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

陸上輸送 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)
<b>国連番号</b>		
非該当	非該当	非該当
<b>国連正式品名</b>		
非該当	非該当	非該当
<b>輸送危険物分類</b>		
非該当	非該当	非該当
非該当	非該当	非該当
<b>容器等級</b>		
非該当	非該当	非該当
<b>環境有害性</b>		

環境有害性 : いいえ	環境有害性 : いいえ 海洋汚染物質 : いいえ	環境有害性 : いいえ
-------------	-----------------------------	-------------

海洋汚染物質 : いいえ

**国内規制**

その他の情報 : 補足情報なし。

**15. 適用法令**

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）

鉱油（政令番号：168）（50～60%）

消防法 : 第四類引火性液体 第四石油類 危険等級 III 潤滑油基油

**16. その他の情報**

**改訂情報**

Section	変更アイテム	変更	コメント
	GHS-JP 分類。	変更。	
	改訂日。	変更。	
	優先日。	変更。	
	消防法。	追加。	

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしており、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。